



石井 敏子^{さん}
東京都台東区
行燈旅館

“変わる”ことが東京の魅力

富山県の東ゆう子さんからバトンを引き継ぎました、東京生まれ東京育ち行燈旅館のオーナー石井敏子と申します。

行燈旅館はお客様の大半が外国人とあって「世界の中の東京とは」という視点で、

ヨーロッパなどに行く
と古い歴史ある建築群
に圧倒されます。諸外
国のお客様が東京に来
ると「東京はどこまで
も高層ビルが続いてい
て途切れない」と、
よく聞かれます。外
国人の目からすれば、
常に目まぐるしく変わ
っていることが最大の
魅力となっっていること
に、実は日本人は意外
に気づいていないので
はと思います。古く何
百年も経つ建物に普通
の人が美観生活してい
る国と、わずか15年で
ビルを壊し再開発して
しまう国、東京。

年に2回、行燈旅館
も東京の建築コースの
中の一つとしてご紹介
してきました。紹介する
ドイツ人建築家でありガ
イドを務めているウル
フさんが、お国から建
築家の方たちを連れて
の建物は魅力にあふれ
ているのです。古き良
きものを大切に残しつ
つ、創造していき、よ
り起伏のある町であり
続け、人づくりをして
いくことが、行燈旅館
創業時の私の夢の一つ
「東京を世界の観光地
のトップにすること」
の必須条件だと思いま
す。

ご当地自慢をさせてい
ただきます。世界の中
の東京を一言で表すな
ら「常に生まれ変わ
る」という表現が似つ
かわしいのではないで
しょうか？ 私たちが
宿泊してくださいま
す。ツアーには人気の
根津美術館や、存続が
危ぶまれている新橋の
中銀カプセルタワービ
ルも入っています。今
年は上野の国立西洋美
術館が都内では初めて
の世界文化遺産となり
色を添えることができ
ました。世界の建築家
から見たらまさに東京
に「I LOVE TOKYO」と言っ
ただけのように微力な
がら御国自慢をお客様
に日々伝えていきたい
と思います。

次はJ K Kの中でも
元氣一杯の女将、富山
県の国広桂子さんにバ
トンを預けます。